

# 車両進入抑止柱 ハイブリッドポスト

製品構造図  
CAD・PDFデータ対応  
http://www.nok.co.jp



FC

- 1.ポリウレタンゴム製のため、適度な剛性で車の進入を抑止します。
- 2.金属製に比べソフトなため、歩行者・自転車衝突しても衝撃を緩和します。
- 3.弾性体のため、車両が衝突して倒れても復元します。
- 4.軽量(6kg以下)のため、運搬性・施工性に優れています。
- 5.3本の高輝度反射シートにより、夜間の視認性を確保し、注意喚起を促します。



## FA コンクリート建込仕様

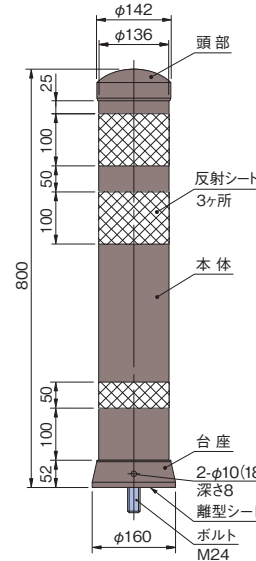
### 仕様

(DB:ダークブラウン)

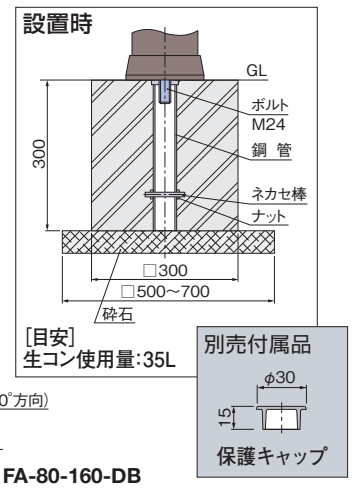
型式	コードNo.	色	高さ寸法 (mm)	価格	重量 (kg)
FA-80-160-DB	FP2500A1	DB	800	35,000円	5.9
埋設用銅管、ネカセ棒、ナット(標準付属品)	FP2500Z0	—	外径φ48.6、高さ300		
保護キャップ(別売)	FP1350D4	黒	ポリウレタンゴム		

- 埋設用銅管、ネカセ棒、ナットは標準付属品です。
- 標準付属品は同梱包です。
- 重量は部品を含んだ重量です。
- 生コンの使用量は35L(目安)です。

### 構造図



### コンクリート建込の設置状態図



## FC 埋設用脚仕様

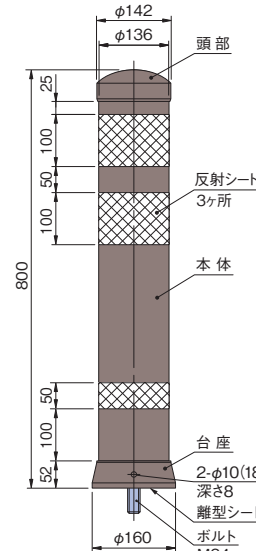
### 仕様

(DB:ダークブラウン)

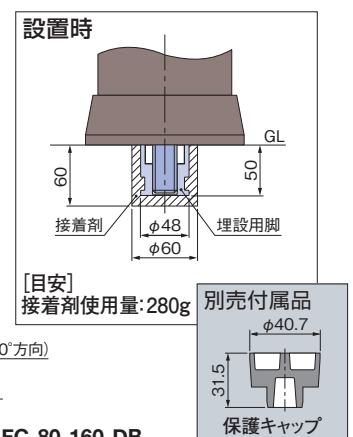
型式	コードNo.	色	高さ寸法 (mm)	価格	重量 (kg)
FC-80-160-DB	FP2500C1	DB	800	33,000円	4.7
埋設用脚(標準付属品)	FP1012A0	—	外径φ48、高さ50		
保護キャップ(別売)	FP1031D1	黒	ポリウレタンゴム		

- 標準付属品は取付済です。
- 重量は埋設用脚を含んだ重量です。
- 接着剤の使用量は280g(目安)です。
- 埋設用脚が路面より露出しないためのスペーサーもご用意できます。  
(施工時、穿孔穴深さは70mmになり、接着剤の使用量は320g(目安)です。)
- 施工用の接着剤は添付されておりません。

### 構造図



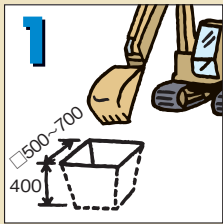
### 着脱1本脚の設置状態図



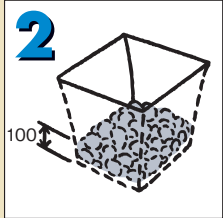
# ハイブリッドポストの施工要領

注意:雨天および舗装面が濡れている場合は、接着力が確保できない恐れがありますので、施工は行わないでください。

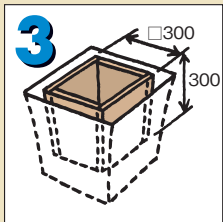
## コンクリート建込仕様



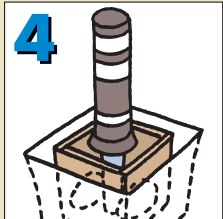
- バックホー(ユンボ)などの重機で□500~□700の穴を掘ってください。(深さ400mm)



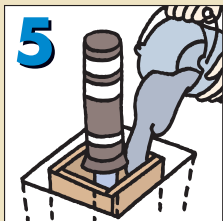
- 掘った穴に碎石を入れてください。(高さ100mm)



- 角材などでGLまでの高さの外枠を作って取付けてください。(縦300×横300×高さ300)



- ハイブリッドポストを外枠の中央にセットしてください。また、台座底面部はGL面と同レベルとしてください。(碎石などで仮固定)
- ★ネカセ棒(ナットで固定)は必ずセットして施工してください。ネカセ棒をセットしていないと、取り外す際に鋼管が空回りし、着脱できなくなる恐れがあります。



- 生コンをGLまで注入してください。養生期間約2週間後に外枠を外してください。

- ★生コンの量は35Lが目安です。



- 埋め戻しをします。

## 埋設用脚仕様

- ★エポキシ樹脂系の接着剤またはエポキシ系樹脂の珪砂入り接着剤をご使用ください。(使用する接着剤については、接着剤メーカーにご確認の上、ご使用ください。)



- 設置する舗装面に、ドリルで穴をあけてください。(穴径φ60mm、深さ60mm)穿孔後はブロアーなどを用いて、穴の中の砂塵などを取り除いてください。



- 接着剤をよく混合攪拌してください。
- ★攪拌不足は硬化不良の原因となります。

- ★接着剤の量は280gが目安です。



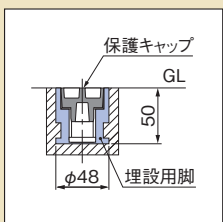
- あけた穴に、混合攪拌した接着剤を充填してください。



- あらかじめセットされた本体を穴に挿入します。(脚のゆるみがないことを確認してください。)
- 接着剤が硬化するまで養生してください。硬化後台座に開けてある穴にφ10mm以下の金属棒を差し込みハンマーなどで叩いて締め付ければ完了です。

- ★離型シートは外さずに設置してください。(離型シートを外して設置すると台座が接着され外せなくなる恐れがあります。)

## 取外し・再設置の場合



- 取り外すときは、台座に開けてある穴にφ10mm以下の金属棒を差し込みハンマーなどで叩いてゆるめます。
- 専用保護キャップ(別売)を埋設用脚に差し込んでください。
- 再設置する場合、埋設用脚上面が地盤面(GL)と一致しているか確認してください。埋設用脚上面が地盤面より低い場合は、ボルトとのかみ合い長さが不足し、外れる可能性があります。また、埋設用脚上面が地盤面より高い場合は台座が浮きます。
- 再設置する場合は、埋設用脚内部およびボルトを清掃してください。(埋設用脚内部の小石、砂塵などの堆積物は完全に除去してください。水による高圧洗浄を推奨致します。)
- 融雪剤の侵入が想定される場合は、固着を防ぐためグリース(半固形状)の塗布を推奨します。

- インターロッキングなどの地面にはコンクリート建込仕様が適しています。
- コンクリート、アスファルトなどの地面には埋設用脚仕様が適しています。



**注意**

- 過度の衝撃・負荷が加わった場合には破損(形状復元不可)する可能性があります。
- 緊急車両の通過・乗越えにより本体の損傷や車の下回り部品の損傷が発生する場合があります。